

商 工 観 光 部

商 工 振 興 課

観光まちづくり推進課

1 商工業振興事業

市内商工業の振興及び発展を図るため、商工会や商店会への補助のほか、イベント開催の支援等を行った。また、市内中小企業の健全な育成及び経営改善を図るため、融資及び利子補給事業を行った。

(1) 商工振興補助事業

ア あきる野市商工会補助事業

商工会事業補助額 26,604,000円

イ あきる野活力みなぎる交付金

(ア) 住宅改修工事等助成事業

商工会事業補助額 10,000,000円

地域経済の活性化につながる需要の喚起を促進するため、個人住宅の改修工事等の一部を助成した。

a 補助決定数 177件

b 助成金額 10,299,000円

(イ) ご当地グルメ情報発信支援事業

商工会事業補助額 500,000円

東京都立五日市高等学校との連携により「あきる野グルメマップ スイーツ編」を作成し、広く情報発信するために公共施設や駅・店舗へ配置した。

ウ 創業就労支援事業

商工会事業補助額 16,540,000円

あきる野創業・就労・事業承継支援ステーションBi@Staにおいて、創業、就労、事業承継に係る相談業務などを実施し、市内事業者等を支援した。

(ア) 相談実績 401件（創業相談302件、就労相談15件、事業承継相談24件、スモールオフィス相談60件）

(イ) 創業実績 32件

(ウ) 創業塾 令和6年9月28日から10月26日まで（全5回） 参加者14人

(エ) チャレンジショップ利用実績 0件

(オ) スモール・オフィス利用実績 60件

(カ) ミニセミナー 12回 参加者34人

(キ) 事業承継セミナー 令和6年12月10日 参加者31人

(ク) Bi@Sta利用者・創業者交流会 令和6年12月3日 参加者11人

エ 商店街振興補助事業

(ア) イベント事業（東京都商店街チャレンジ戦略支援事業費補助金併用、市補助含む。）

商店会名	事業名	補助額(円)
あきる野商店会連合会	感謝祭お花プレゼントセール	444,000
秋川駅北口会	秋川駅北口会フェスティバル	900,000
	新年秋川駅北口大抽選会	381,000
原店商店会	原店歳末セール	850,000
野辺商工会	ワッショイ・ワッショイセール	381,000

五日市商和会	お中元大売出し	425,000
	歳末大売出し	434,000
秋川駅南口商店会	さくらまつりセール	396,000
	ウィンターフェスタ	353,000
二宮商栄会	二宮マルシェ	273,000
増戸商栄会	増戸ますます市 そして 顔出しパネルラリー	900,000
	ますます縁日	174,000
多西商栄会	感謝セール	136,000
	歳末感謝セール	138,000
雨間商興会	雨間商興会春祭り	62,000

(イ) 活性化事業 (東京都商店街チャレンジ戦略支援事業費補助金併用、市補助含む。)

商店会名	事業名	補助額(円)
秋川駅北口会	秋川駅北口会ホームページ作成	366,000
二宮商栄会	商店街イメージアップ&地域コミュニティ形成事業	134,000
増戸商栄会	会員証と顔出し看板の整備事業	362,000

オ 商店街装飾灯補助事業 (装飾灯の維持管理経費に対する補助)

商店会名	基数(基)	補助額(円)
原店商店会	LED 34	132,000
五日市商和会	LED 80	315,000

カ 夏まつり補助事業

開催日	令和6年8月3日
場所	JR秋川駅北口駅前大通り周辺
来場者数	約32,000人
補助額	3,717,692円 (第19回あきる野夏まつり運営委員会補助)

キ ヨルイチ補助事業 台風10号の接近に伴い、中止とした。

ク 産業祭補助事業

開催日	令和6年11月9日、10日
場所	都立秋留台公園
来場者数	約30,000人 (1日目17,000人、2日目13,000人)
補助額	7,185,848円 (第28回あきる野市産業祭運営委員会補助)

ケ キャッシュレス決済ポイント還元事業

商工会事業補助金 49,061,233円

物価高騰の影響により、多くの中小企業者や市民が影響を受けている状況を踏まえ、地域経済の活性化及びキャッシュレス決済の推進を図るため、キャッシュレス決済ポイント還元事業を実施した。

(ア) 実施期間 令和6年7月1日から7月26日まで

(イ) 実施内容 対象のキャッシュレス決済を利用して支払いをする際に、決済金額の最大25%をポイントとして付与する。

(ウ) 対象となるキャッシュレス決済 PayPay

(エ) 取扱店舗数 479店舗

(オ) 決済額 197,138,101円

(カ) 還元額 43,243,881円

(2) 中小企業振興資金融資及び小口零細企業保証資金融資並びに利子補給事業

ア 融資件数 78件

イ 融資額 444,200,000円

	利子補給件数(件)	利子補給額(円)
上半期	233	1,132,677
下半期	253	1,360,470
合計	486	2,493,147

ウ 保証料助成額 13件 290,212円

(3) 小規模事業者経営改善資金利子補給

	利子補給件数(件)	利子補給額(円)
上半期	219	5,339,452
下半期	242	6,210,337
合計	461	11,549,789

2 地域産業活性化事業

地域経済力の強化を目指し、商工業、観光等全ての産業の効果的な振興を図るため、市民と協働で活性化事業を実施した。

(1) 秋川駅周辺地区産業活性化戦略委員会

ア 会議 6回

イ 実施事業

(ア) イルミネーション事業

Akiruno Winter Festival 2024

秋川駅周辺地区への誘客及び活性化を図るため、令和6年12月6日から令和7年1月31日まで、秋川駅北口ロータリー、秋川駅南口ロータリー及び秋川駅連絡通路にイルミネーションを設置し、点灯した。

(イ) 秋川駅周辺地区まちづくり推進事業

秋川駅前ハロウィンイベント

秋川駅周辺地区の産業振興を図るため、令和6年10月27日に、秋川駅周辺店舗によるスタンプラリーや秋留野広場でのガラポン抽選会などを実施した。

(2) 五日市活性化戦略委員会

ア 全体会議 5回

班長会議 6回

イ 実施事業

(ア) 五日市地区にぎわい創出事業

a 武蔵五日市グルメ市

五日市ひろばにおいて、地域の様々な世代の方が交流する場を創出するため、市内キッチンカーの出店による飲食の販売を行った。また、定期的にイベントを開催することで五日市ひろばの認知度の向上に向けた取組を行った。

b 第9回秋川溪谷雛めぐり

五日市地域の魅力発信及び誘客促進による地域活性化を図るため、令和7年2月8日から3月9日まで、武蔵五日市駅及び武蔵増戸駅周辺の商店や公共施設にお雛様等を展示した。

c 五市マルシェ

武蔵五日市駅前ロータリー沿いにおいて、秋川流域の商工業者が出店するマルシェを開

催した。JRとの調整を行い、中央線沿線の各駅へポスターを掲出することで秋川溪谷の魅力を広くPRした。また、SNSを活用し、出店者情報や観光情報を更新することで、地域の内外へ情報発信を行った。

(イ) 五日市まちづくり推進事業

a まちづくり通信

五日市地域における店舗情報やイベント情報等をまとめた地域紙である「五日市まちづくり通信」を作成し、公共施設や各商店へ配置するとともにSNSを活用することで、地域内外に情報発信を行った。

b 空き店舗空き家まち歩きツアー

地域内の空き物件を調査し、賃貸可能な空き家・空き店舗を掘り起こした上で、令和6年11月16日に、まち歩きをしながら物件を見学する「東京五日市せせらぎ暮らし（まち歩き物件見学ツアー）」を実施し、参加された18人に対し、五日市地域の魅力をPRし、開業・移住への支援を行った。

c 五日市まちづくり協議会

五日市地区の商店会や事業者などが連携し、五日市地区の活性化に必要な取組の協議や情報共有を行う組織である「五日市まちづくり協議会」の支援を行い、全体会議を2回開催し、イベントや観光情報の共有を行い、地域の課題について意見交換を行った。

(3) 養沢活性化委員会

ア 会議 11回

イ 実施事業

(ア) ホタル育成事業

カワニナ及びホタルの養殖を行った。ホタル観賞会については熊の出没に伴い、中止とした。

(イ) 植樹・景観整備事業

養沢川沿いの景観整備を行った。

(ウ) 果樹園整備事業

ブルーベリー園の整備及びブルーベリーの販売を行った。

(エ) マルシェ養沢事業

熊の出没に伴い、中止とした。

(オ) 空き家対策事業

空き家調査及びパンフレットの作成・配布を行った。

(カ) 秋まつり事業

スタンプラリー及びマルシェを実施した。

3 中小企業信用保険法の規定に基づく認定事業

特定の要件により経営の安定に支障が生じている中小企業者について、信用保証協会による保証限度額の別枠化を行うため、特定中小企業者として認定した。

(1) 突発的災害（自然災害等）（法第2条第5項第4号） 47件

(2) 業況悪化業種（法第2条第5項第5号） 19件

4 大規模小売店舗立地法に基づく届出

- (1) 新設の届出 0件
- (2) 変更の届出 4件

5 砂利採取法に関する意見聴取

砂利採取事業者の認可申請について、東京都からの意見照会を受け、関係団体への意見聴取を行い、その結果を東京都に報告した。

- (1) 新規砂利採取件数 0件
- (2) 継続砂利採取件数 1件

6 消費者行政関係

消費者トラブルの解決を図るため、消費者相談を実施した。また、消費生活の安定及び向上を図るため、講座や啓発事業を実施した。

(1) 消費者相談

- ア 開催日数 91日
- イ 相談件数 209件

(2) 消費生活講座

開催日	講座名	受講者数(人)
令和6年 7月24日	夏休み子ども消費生活講座「知ろう地域の名産品!～『あきる野の匠』が教える!しょうゆづくりとMYしょうゆづくり体験～」	20
12月18日	東京都共催消費生活講座「だまされない消費者になるための心理学」	14
令和7年 1月29日	権利擁護講座「スマホの安全な使い方」	19

(3) 消費者啓発

- ア 新成人への消費者被害防止啓発リーフレット(若者用)配布
- イ 広報「あきる野」への消費生活情報掲載
- ウ 消費者啓発物品の作成・配布
- エ 産業祭会場でのクーリング・オフに関するパネルの展示

(4) 西多摩地域消費者行政事務連絡会・西多摩地域広域行政圏消費生活相談連絡会議

西多摩地域8市町村(青梅市、福生市、羽村市、あきる野市、瑞穂町、日の出町、奥多摩町及び檜原村)における消費者行政の円滑な推進及び運営を図ることを目的とし、消費生活講座の共同開催や消費生活相談の相互受付を実施した。

- ア 連絡会 4回
- イ 講座 2回

開催日	講座名	受講者数(人)
令和6年11月21日	「本当に必要な保険ってどんな保険?～保険の種類と内容、必要性について～」	15
令和7年 2月18日	「暮らしをラクに!快適に!役に立つ整理収納術」	34

7 労働行政関係

ハローワーク及び東京しごとセンター多摩と共催でセミナーを実施し、就労支援に係る情報を広報やホームページに掲載することで、市民の就職活動を支援した。

(1) あきる野ハローワーク求人情報コーナー

ア 来所者 7, 225人 (求職者7, 192人、求人者33人)

イ 就職者 537人

(2) 労働セミナー及び面接会

ア 中高年齢者就職支援セミナー (ハローワーク青梅との共催事業)

開催日	内容	参加者数(人)
令和6年 7月12日	応募書類の作成、面接の受け方等	19
令和7年 1月17日		17

イ 面接会 (ハローワーク青梅との共催事業)

開催日	参加企業数(社)	参加者数(人)	採用人数(人)
令和6年 7月12日	2	4	2
令和7年 1月17日	2	中止	—

ウ 就職支援セミナー (ハローワーク青梅との共催事業)

開催日	内容	参加者数(人)
令和6年 4月30日	自己理解・職業理解 (座学)	29
5月27日	書類選考対策 (個別)	2
6月24日	面接対策 (座学)	36
7月29日	面接対策 (ロールプレイ)	33
8月26日	応募書類の書き方 (座学)	37
9月30日	自己理解・職業理解 (座学)	36
10月28日	面接対策 (ロールプレイ)	35
11月25日	面接対策 (座学)	34
12月23日	面接対策 (ロールプレイ)	23
令和7年 1月27日	応募書類の書き方 (座学)	25
2月25日	自己理解・職業理解 (座学)	18
3月31日	書類選考対策 (個別)	9

エ しごとと子育て両立応援ミニセミナー (ハローワーク青梅との共催事業)

開催日	内容	参加者数(人)
令和6年 11月 8日	ハローワークの概要 就職活動準備	中止
令和7年 3月14日	応募書類の作成、面接対策	2

オ 就職面接会 (東京しごとセンター多摩との共催事業)

開催日	参加企業数(社)	参加者数(人)	開催場所
令和6年 7月26日	20	30	S&Dたまぐーセンター
12月11日	20	62	都立多摩職業能力開発センター

カ ミニセミナーin あきる野 自分らしく働きたい! 就活のための「自己理解・価値観『見える化』ワーク」(東京しごとセンター多摩・女性しごと応援テラス多摩との共催事業)

開催日	内容	参加者数(人)
令和6年 9月27日	自己理解 (ワークショップ)	17

8 五日市ひろば利用状況

五日市ひろばを市民の交流の場として開放することで、商店街の振興と地域産業の総合的な発展を図った。

使用承認 件数(件)	使用料				使用承認 日数 (日)	使用承認 人数(人)
	件数 (件)	徴収分(円)	件数 (件)	減免分(円)		
35	19	37,800	16	118,200	140	9,455

9 青梅線沿線地域産業クラスター協議会

地域産業の活性化を図るため、J R 青梅線、五日市線及び八高線沿線地域の企業を有機的なネットワークで結び付け、取引、連携、協働、協業及び健全な競争を促進した。

(1) 会議

- ア 運営協議会 1 回
- イ 事務局会議 4 回
- ウ ワーキンググループ 4 回

(2) 事業

ア 人材育成事業

- (ア) 新入社員研修 (全 2 回、延べ 30 人)
- (イ) 中堅社員・管理職研修 (全 2 回、延べ 14 人)

イ 人材確保支援事業

- (ア) 中小企業向けセミナー (羽村市産業福祉センター)

開催日	参加者数 (人)
令和 6 年 1 1 月 2 9 日	9

- (イ) 中途採用向け就職面接会

- a 面接対策セミナー (都立多摩職業能力開発センター)

開催日	参加者数 (人)
令和 6 年 1 2 月 1 1 日	57

- b 面接会 (都立多摩職業能力開発センター)

開催日	参加者数 (人)	参加企業数 (社)
令和 6 年 1 2 月 1 1 日	62	20

ウ 企業間連携事業

- (ア) 企業視察見学 (株式会社 I H I 瑞穂工場)

開催日	参加者数 (人)
令和 7 年 2 月 4 日	40

- (イ) 情報交換会 (瑞穂町民会館)

開催日	参加者数 (人)
令和 7 年 2 月 4 日	25

エ 販路開拓支援事業

企業情報サイト作成事業

企業情報サイトとして、首都圏産業活性化協会 (TAMA 協会) のウェブサイト内での新規ページ作成に向け、掲載企業の確認及び企業 P R シートの取りまとめを行った。

10 栗原市民まつりへの参加

台風 10 号の接近に伴い、参加を中止した。

11 生産性向上特別措置法に基づく導入促進基本計画の策定

中小企業の生産性向上を図るため、生産性向上特別措置法に基づき市内中小企業の先端設備等導入計画を認定し、設備投資を支援した。

- (1) 先端設備等導入計画の認定を受けた事業者 3 事業者
- (2) 提出済みの先端設備等導入計画を変更した事業者 1 事業者

12 あきる野市商工業振興プラン推進会議

あきる野市商工業振興プランに基づき、実施主体と連携し、各個別施策について進捗状況の共有や次年度の事業実施に向けた見直し等を行った。

	開催日	内容（議事等）
第1回	令和6年 4月19日	令和5年度実施事業の進捗状況について
第2回	10月11日	令和6年度実施事業の進捗状況について

13 寄附採納（ふるさと納税）

自主財源の確保を図るため、ふるさと納税の取組を周知し、寄附を募ることで寄附を活用したまちづくりを推進した。

（1）個人版ふるさと納税

件名	件数	金額（円）
一般寄附金	1,816	45,410,500
保健福祉事業指定寄附金	306	6,001,000
環境保全事業指定寄附金	490	13,313,100
産業振興事業指定寄附金	205	8,958,000
公共施設整備事業指定寄附金	127	4,669,000
安心安全まちづくり事業指定寄附金	145	3,872,000
教育文化事業指定寄附金	390	12,726,000
合計	3,479	94,949,600

（2）企業版ふるさと納税

件名	件数	金額（円）
保健福祉事業指定寄附金	1	100,000
環境保全事業指定寄附金	0	0
産業振興事業指定寄附金	2	3,000,000
公共施設整備事業指定寄附金	1	100,000
安心安全まちづくり事業指定寄附金	0	0
教育文化事業指定寄附金	0	0
フィルムコミッション事業指定寄附金	2	500,000
合計	6	3,700,000

1 秋川渓谷観光推進事業

秋川渓谷を活用した観光推進を図るとともに、地域の自然、歴史文化などの地域資源を活用した地域振興策を展開し、観光客の誘客と地域の活性化を図ることができた。

(1) 観光ボランティアガイド事業

武蔵五日市駅前において、5月から11月まで（8月及び9月を除く。）の土曜日、日曜日及び祝日の午前中に、観光ボランティアガイドによる観光案内を実施した。

ア 案内日数 合計21日間

イ 案内件数 87組167人

ウ 観光ボランティアガイド研修会 1回開催（令和6年5月22日）

エ 予約制ガイドツアー 2回開催

ツアー名	初夏を感じる あじさい山へのハイキング
開催日	令和6年6月23日 午前9時から正午まで
コース	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共通コース（約3km） 武蔵五日市駅 → 小倉公園（準備体操）→ かっちゃんのアナベル → まいまい坂 → 穴澤天神社 → あじさい山入り口付近 ・ 希望者のみ案内（約2km） あじさい山入り口付近 → 山抱きの大榿 → 深沢小さな美術館 → 真光院 → 深沢家屋敷跡 → あじさい山入り口付近
内容	秋川渓谷を観光ボランティアガイドの解説で巡る。
参加者	14人（従事ガイド5人）

ツアー名	歴史文化に触れる紅葉めぐり
開催日	令和6年11月30日 午前9時から正午まで
コース	武蔵五日市駅 → 秋川橋河川公園 → あゆみ橋 → 阿伎留神社 → 小和田橋 → 広徳寺 → 佳月橋 → 五日市郷土館（約5km）
内容	秋川渓谷を観光ボランティアガイドの解説で巡る。
参加者	16人（従事ガイド5人）

(2) 観光客誘致促進事業（市後援事業）

開催日	事業名
令和6年 4月20日 5月18日 6月15日 10月19日 11月16日	五市マルシェ
令和7年 3月15日 6月8日 ～7月7日	秋川渓谷あじさいまつり
令和6年 9月20日 ～22日	第5回きく・かく・えがく～東京のふるさと・自然公園～
令和7年 3月1日	
10月13日 14日	第32回日本山岳耐久レース（24時間以内）～「長谷川恒男Cup」
10月19日	第32回日本山岳耐久レース（24時間以内）～「長谷川恒男Cup」 秋のグリーンフェスティバル
10月19日 ～27日	秋留台公園ローズフェスタ2024秋
11月1日 ～12月1日	あきがわアートストリーム2024
11月16日	第6回秋川流域花火大会

令和7年 1月 1日 ～3日	武蔵五日市七福神巡り
1月28日	第19回国内観光活性化フォーラム in 東京
2月22日 3月 8日	チャリティー音楽会／秋川クリーンアップ
3月16日	あきる野の奏で in 秋留野広場
3月30日	第17回ハセツネ30K大会

(3) 広域観光まちづくり事業（市町村実施事業）

秋川流域観光フェア

開催日	令和6年11月23日
場所	イオンモール日の出 1階専門店街 中央スペース
内容	観光パンフレットの配布、ふるさと工房五日市物産販売・展示紹介、特産品販売

(4) 秋川溪谷Wi-Fi整備

公衆無線LAN「Akigawa Keikoku Free Wi-Fi」について、公共施設10か所でサービスを提供した。

アクセス回数（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）

10か所合計 44,907アクセス

(5) 観光用デジタルサイネージ整備

多言語対応のデジタルサイネージ（電子看板）については、季節ごとの観光PR動画の配信やイベント告知などに活用し、観光情報を発信した。

(6) 広域連携事業

ア 「高尾山・リニア」地区広域連携事業

八王子市、あきる野市、相模原市、大月市及び都留市の5市（以下「連携5市」という。）で連絡会を組織し、欧米豪を中心とした訪日外国人旅行者の誘客促進を図った。

(ア) 観光情報ポータルサイトの運用・保守

連携5市により立ち上げた英語版観光情報ポータルサイト（TOKYO WESTSIDE）を運用し、情報発信した。

目標（WEBサイトPV数） 39,000

実績（WEBサイトPV数） 47,027（達成率 120%）

(イ) 専門家派遣事業

観光事業に知見のある在日外国人を招き、連携5市における観光地経営の調査・戦略策定及び受入環境整備の助言を受けるため、市内の観光施設を案内した。

イ 西多摩地域入込観光客数調査

西多摩地域広域行政圏協議会（青梅市、福生市、羽村市、あきる野市、瑞穂町、日の出町、檜原村、奥多摩町）では、多様化する観光客のニーズを的確に把握し、西多摩地域を構成する市町村における今後の観光施策や観光関係者の事業展開などにおける基礎資料に供することを目的として、昭和60年度から5年度毎に入込観光客数調査を実施している。前回の調査は平成29年度に実施したことから、本来であれば5年後の令和4年度に調査を実施する予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、令和6年度において調査を行った。

(7) ふるさと文化創生事業

地域が誇る先人たちの功績を広め、ゆかりの地を観光資源としてPRするため、「あきる野市ゆかりの人パンフレット」及び「五日市憲法草案ゆかりの地を巡るリーフレット」を観光案内所等で配布し、郷土愛の醸成を図った。

ア あきる野市ゆかりの人事業

あきる野市ゆかりの人展示

開催日 令和6年4月1日から令和7年3月31日まで（年末年始を除く。）

来場者数 165人

イ あきる野の匠事業

あきる野の自然、歴史及び文化から生まれ、先代から受け継がれてきた伝統の味、技法、熟練の技術などの承継者を「あきる野の匠」として認定しており、令和6年度は新たに1人の匠を認定した。

（ア）あきる野市産業祭におけるあきる野の匠のプロモーション実施

開催日	令和6年11月9日、10日
場所	都立秋留台公園
内容	匠の商品の展示、匠の方々による商品等の説明、リーフレットの配布、人物紹介のパネル展示、来場者向けアンケートの実施

（イ）あきる野の匠たちリーフレットの作成

「あきる野の匠」が手掛ける魅力ある商品等を紹介するリーフレットを作成し、市内外問わず広く発信することで、商品の需要拡大を図るとともに、匠の技等の承継につなげ、観光客の増加及び郷土愛の醸成を図った。

日本語版 2,000部 英語版 500部

（8）デザインマンホール蓋設置・活用等推進事業

観光客の誘客及び地域活性化を図るため、デザインマンホールが描かれた2種類のマンホールカードを作成し、配布した。

ア 森っこサンちゃん「お祭り」版 配布枚数 3,291枚

イ 森っこサンちゃん「石舟橋」版 配布枚数 2,485枚

（9）観光ポスター作成・配布

あきる野市への観光誘客及び郷土愛の醸成を目的に、ポスターの秋号及び春号について、それぞれB1サイズ350部を作成し、JR拝島駅、秋川駅、東秋留駅、武蔵五日市駅及び市内各所に掲出・宣伝した。

2 秋川溪谷観光プロモーション事業

秋川溪谷のブランド化を図るため、「秋川溪谷の魅力」を伝える観光プロモーション事業を展開した。

（1）民間事業者等との連携による観光プロモーション事業

ア 秋川溪谷観光関係機関連絡会との連携事業

観光プロモーション事業として、秋川溪谷の魅力をPRするために、観光キャラバンを実施した。

開催日	令和6年10月5日
場所	武蔵境駅改札前
内容	観光パンフレットの配布、森っこサンちゃん・たまきょうりゅう（東京都公園協会）によるグリーンティング

イ 一般社団法人日本自動車連盟（JAF）との連携事業

JAF東京支部からの提案を受け、西多摩8市町村でオンライン会議にて情報交換を行った。

ウ 東日本旅客鉄道株式会社（JR東日本）との連携事業

（ア）五日市線開業100周年イベント

令和7年4月21日に開業100周年を迎える五日市線について、JR東日本八王子支社主催により、五日市線開業100周年イベントを実施した。

開催日	令和6年6月15日
場所	武蔵五日市駅
内容	駅ホームに停車している列車内での観光パンフレットの配布並びに五日市物語、観光PRポスター及びフォトスポットの展示

（イ）駅からハイキング

秋川渓谷への誘客を図るため、観光スポット等をめぐるウォーキングイベントに参画した。

開催日	コース名	参加者数
令和6年6月15日 ～30日 ※毎週水曜日を除く	秋川渓谷とあきる野市の街をめぐるハイキング	569人
11月1日 ～12月1日 ※毎週水曜日を除く	～秋川渓谷～都心から約60分の大自然で紅葉めぐり	672人

エ 西多摩地域広域行政圏協議会主催事業

西多摩地域8市町村の協働による観光客誘致PRを実施した。

名称	西多摩フェア
開催日	令和6年9月17日、18日
場所	武蔵溝ノ口駅
内容	観光パンフレットの配布、森っこサンちゃんグリーンティング

（2）イベント出展等による観光誘客事業

ア 東京観光情報センター多摩

開催日	令和6年6月1日～30日
場所	立川駅エキュート3階 東京観光情報センター多摩
内容	観光パンフレットの配布、パネル及びポスターの展示

イ 東京観光情報センター

開催日	令和6年7月1日～15日
場所	都庁第一本庁舎1階 東京観光情報センター
内容	観光パンフレットの配布、パネル及びポスターの展示

（3）観光関係雑誌及び新聞等による紹介・宣伝

各種行事及び市内観光施設等について、雑誌等を利用し、紹介・宣伝した。

媒体	回数	媒体	回数
地域情報誌	2	WEB	13
フリーペーパー	2	テレビ	15
書籍	2	ポスター、デジタルサイネージ	3
新聞	2	合計	39

（4）SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の活用

ア あきる野市観光情報 Facebook ページ統計データ

（ア）期間 令和6年4月1日から令和7年3月31日まで（365日）

（イ）投稿回数 62回（1週当たり平均約1.2回投稿）※1年間を52週とする。

（ウ）各投稿の平均閲覧回数 約1,300回（複数回閲覧者含む。）

（エ）各投稿の合計閲覧回数 80,633回（複数回閲覧者含む。）

（オ）各投稿の平均閲覧人数 約980人（ファン以外を含む。）

(カ) 各投稿の合計閲覧人数 60,954人(ファン以外を含む。)

※ 各投稿の平均は、合計の閲覧回数・閲覧人数から算出

(キ) ファン数 3,580人(令和7年3月31日現在)

※ 令和6年3月31日時点は、3,454人

イ 秋川溪谷LINEアカウント

(ア) 期間 令和6年4月1日から令和7年3月31日まで(365日)

(イ) ホーム投稿回数 63回(1週当たり平均1.2回投稿)

(ウ) 各発信の平均閲覧回数 約707回(複数回閲覧者含む。)

(エ) 各発信の合計閲覧回数 44,552回(複数回閲覧者含む。)

※ 各発信の平均及び合計の閲覧回数・閲覧人数は、投稿・配信日の数字から算出

(オ) 友達数(注1) 3,298人(令和7年3月31日現在)

※1 うち有効友達数(注2) 2,151人

※2 令和6年3月31日時点は、3,098人(うち有効友達数2,025人)

(注1) …秋川溪谷LINEアカウントからの通知を受け取る設定をした方の数

(注2) …友達数から、通知の受け取りを拒否した方の数を引いた数

(5) 観光パンフレット等の作成

ア 秋川溪谷リーフレット(日本語)

春・夏版 30,000部、秋・冬版 30,000部

イ 秋川溪谷総合マップ 50,000部

(6) 秋川溪谷観光デジタルフォトコンテスト

秋川溪谷を中心とした写真を募集し、広く情報を発信する市民参加型のイベントとして、フォトコンテストを2回開催した。また、応募作品の一部を秋川溪谷の魅力発信のため、観光パンフレット等の写真データとして使用した。

ア 第17回(春・夏の部) テーマ「魅力再発見～川・花の風景～」

(ア) 応募期間 令和6年7月26日から8月31日まで

(イ) 応募作品 73作品

(ウ) 受賞 金賞1点、銀賞1点、特別賞2点

イ 第18回(秋・冬の部) テーマ「魅力再発見～紅葉・お祭りの風景～」

(ア) 応募期間 令和6年12月15日から令和7年2月15日まで

(イ) 応募作品 49作品

(ウ) 受賞 金賞1点、銀賞1点、特別賞2点

(7) 秋川溪谷ロゴマークの活用

「東京のふるさと・あきる野」の実現に向けた観光まちづくりの取組として、秋川溪谷を広くPRするため、秋川溪谷ロゴマークを定め、活用を図った。

ア ロゴマークの使用承認

団体・事業者が商品等に掲載した。

(ア) 使用申請 3件 (イ) 使用承認 3件

イ 啓発用品の掲出・配布

ロゴマークを刷り込んだ啓発用品を掲出・配布した。

(ア) のぼり旗・ミニのぼり旗 公共施設、観光施設等に掲出

(イ) ステッカー 市庁用自動車に貼付

(ウ) マグネットシート 市庁用自動車に貼付

(エ) 秋川渓谷ロゴ入りポロシャツ 291枚作成

(8) 「森っこサンちゃん」LINEスタンプ製作

LINEアカウント「秋川渓谷」を活用し、秋川渓谷観光プロモーションを推進するため、森っこサンちゃんのオリジナルLINEスタンプを販売した。

LINEスタンプ販売数 125ダウンロード(5,659円)

(9) 石舟橋イルミネーションの開催

優れた自然の風景地の保護に配慮しつつ、秩父多摩甲斐国立公園の利用増進を図るとともに、閑散期となる冬季の誘客促進を図るため、石舟橋及び秋川渓谷瀬音の湯周辺をイルミネーションで装飾した。

開催期間 令和6年12月7日から令和7年1月26日まで

3 秋川渓谷観光施設維持管理事業

秋川渓谷に係る観光施設等を観光資源として継続的に保存するため、適正に維持管理した。また、より魅力的な観光ルートを整備するため、眺望確保や訪日外国人旅行者に対応した英語表記による観光案内看板を設置した。また、秋川渓谷瀬音の湯の施設の長寿命化を目指すことを目的として保全計画を策定した。

(1) 秋川渓谷観光情報コーナーの運営管理

秋川渓谷観光の玄関口である武蔵五日市駅の改札外に、観光資源の魅力発信拠点として設置した「秋川渓谷観光情報コーナー」において、観光パンフレット等の配架や秋川渓谷Wi-Fiの提供、デジタルサイネージによる多言語情報の発信を行うことで、訪日外国人旅行者の受入れ環境整備を図った。

(2) 歩行者用誘導標識の整備

観光客の周遊性向上及び地域の魅力発信を図るため、歩行者用誘導標識2基を整備した。英語による案内を併記することで、訪日外国人旅行者の受入れ環境整備を行った。

(3) 森林資源を活用した魅力創出事業

ア 長岳周辺景観伐採等事業

長岳周辺の樹木を伐採したことで、景観を確保し、登山道の魅力を向上させた。また、樹木に適した生育環境の実現を果たした。

イ 網代城山周辺景観伐採等事業

網代城山及び花見山の樹木を伐採したことで、景観を確保し、登山道の魅力を向上させた。また、樹木に適した生育環境の実現を果たした。

ウ 戸倉城山景観伐採等事業

戸倉城山頂上付近の樹木を伐採したことで、景観を確保し、登山道の魅力を向上させた。また、登山道の分岐点に設置した道標及び急坂に設置した木製階段により、来訪者に安全で快適な登山の環境整備を行った。

エ 青木平橋周辺景観伐採等

青木平橋付近の樹木を伐採したことで、景観を確保し、ハイキングコースの魅力を向上させた。

(4) 観光ルート草刈り等事業

観光遊歩道、観光施設等周辺の除草作業、草刈作業、植栽管理を実施した。

(5) 秋川渓谷瀬音の湯中長期保全計画策定業務

件名	受注者	金額
秋川渓谷瀬音の湯中長期保全計画策定業務委託	国際航業(株)多摩営業所	5,478,000円

4 観光トイレ維持管理事業

秋川渓谷を訪れた観光客に快適に利用してもらうことを目的として、ハイキングコース上などにある観光トイレの整備及び維持管理を行った。

5 秋川流域持続可能なツーリズム推進事業

秋川渓谷戸倉体験研修センター3階にある「秋川流域ジオ情報室」において、秋川流域に存在する地域資源を季節ごとに紹介する展示物等の作成や解説を実施するなど、来訪者の対応を行った。

(1) 年間来訪者 8,612人

(2) ジオサイトマップ及びたのしるBOOKの作成

秋川流域の魅力発信と認知度向上を図るため、秋川流域の地質、地形、化石等の自然遺産に関するパンフレットを作成した。

ジオサイトマップ 5,000部 たのしるBOOK 5,000部

6 ふるさと工房五日市運営事業

紙すき体験や講習会を実施することにより、東京都指定無形文化財「軍道紙」の保存伝承及びPRを行った。

(1) 利用人数 2,857人(市内921人、市外1,936人)

(2) 小学校体験学習件数 28校(市内9校、市外19校) 1,370人

7 指定管理者による管理

指定管理者の能力を活用し、市民等に対する観光行政サービスの効果及び効率を高めることができた。

(1) 観光施設

施設名	指定管理者	指定期間	利用者数
秋川橋河川公園	一般社団法人 あきる野市観光協会	令和2年 4月1日 ～	46,508人
第1水辺公園リバー サイドパークの谷			651人
第4水辺公園秋川 ふれあいランド		令和7年 3月31日	1,764人

(2) 十里木・長岳観光施設

施設名	指定管理者	指定期間	利用者数
秋川渓谷瀬音の湯	新四季創造株式会社	令和2年 4月1日 ～	温泉 223,155人
			宿泊 6,264人
		令和7年 3月31日	レストラン 55,806人
			直売 79,032人
			合計 364,257人

※ レストランは令和5年4月から委託を実施

(3) 秋川溪谷戸倉体験研修センター

ア 施設実績

施設名	指定管理者	指定期間	利用者数	
			体 験	利用者数
秋川溪谷戸倉体験 研修センター	新四季創造株式会社	令和5年 4月1日 ～ 令和10年 3月31日	宿 泊	1,593人
			飲 食	2,063人
			研 修 室	13,818人
			見 学 等	4,825人
			合 計	5,884人
			合 計	28,183人

イ 指定管理委託料 26,500,000円(年間)

8 フィルムコミッション事業

(1) 撮影支援

映画・テレビ・CMなどの撮影がスムーズに進行するための環境を整えるとともに、経済振興・誘客効果・地域の魅力を再認識するために、撮影を誘致及び支援した。

ア 撮影問合せ及び実施件数

ロケ地等問合せ件数 207件(うち撮影実施件数50件、実施率24.2%)

月	問合せ件数(合計)				撮影実施件数			
	合計	内訳			件数	内訳		
		映画	テレビ	その他		映画	テレビ	その他
4月	20	3	12	5	6	0	3	3
5月	14	2	6	6	3	0	2	1
6月	19	1	12	6	6	0	2	4
7月	23	3	9	11	5	0	1	4
8月	15	0	11	4	6	0	5	1
9月	23	5	11	7	6	2	4	0
10月	21	3	10	8	8	0	4	4
11月	15	2	4	9	4	0	1	3
12月	21	4	9	8	3	1	1	1
1月	16	1	9	6	1	0	0	1
2月	7	1	3	3	1	0	1	0
3月	13	0	3	10	1	0	0	1
合計	207	25	99	83	50	3	24	23

イ 撮影における直接経済効果

撮影における経済効果を把握するため、映像制作者に情報提供を依頼し、回答があった内容について記載する。

(ア) 市施設使用料収入

- a 使用施設 千代里会館
- b 使用料総額 61,200円

(イ) 寄附

- a 寄附件数 5件(うち2件は企業版ふるさと納税に該当)
- b 寄附金額 590,000円

(ウ) 民間施設等使用料

- a 使用施設 民家、観光施設、宿泊施設、飲食店、神社等
- b 使用料総額 2,324,500円

(エ) 市内業者へのロケ弁当等注文

- a 注文業者 ロケ弁当登録業者
- b 注文金額 1,066,016円

ウ 撮影における間接効果

(ア) 認知度及び好感度の向上

テレビをはじめとしたメディアに市が取り上げられることで、市の一般的な認知度及び好感度を高めた。

(イ) 郷土愛の醸成

テレビをはじめとしたメディアに市が取り上げられることで、市民が地元の良さを再確認し、地元への誇りを向上させた。

(ウ) 市民の交流

市内でのテレビや映画などの撮影に際し、市民の協力を得ることで、市民に共通の話題提供と交流を促した。

(2) 映像・画像提供

市で独自に撮影し、保存している市内景勝地などの画像、動画素材をテレビ番組等に提供した。

映像提供件数 9件

9 武蔵五日市駅前市有地活用事業

(1) 武蔵五日市駅前拠点施設の建設

秋川流域の観光拠点として、市民や観光客、事業者などが気軽に立ち寄れ、交流し、学べる場、くつろげる場を創出することを目的として、令和7年3月に武蔵五日市駅前拠点施設を建設した。

件名	受注者	金額
R6 武蔵五日市駅前拠点施設新築工事（建築工事）	株式会社来住野工務店	230,230,000円
R6 武蔵五日市駅前拠点施設新築工事（電気設備工事）	有限会社秋川電気工業所	35,531,100円
R6 武蔵五日市駅前拠点施設新築工事（機械設備工事）	有限会社ナカムラ設備工業	47,879,700円
合計		313,640,800円

(2) 武蔵五日市駅前拠点施設のワークショップの開催

市民や事業者、観光客などが気軽に立ち寄れ、交流できる場となる施設とするため、ワークショップを開催した。

開催日	令和6年6月15日
場所	武蔵五日市駅前拠点施設建設予定地（あきる野市館谷台26番地1）
意見数	114件
内容	武蔵五日市駅前拠点施設を使いこなす意見の集約

(3) 武蔵五日市駅前拠点施設の名称（愛称）の決定

武蔵五日市駅前拠点施設が、市民や観光客、事業者などの利用者に愛される施設となるよう、施設名称を募集し、「フレア五日市」の名称となった。

ア 募集期間 令和6年9月1日から9月27日まで

イ 応募点数 502件

(4) 武蔵五日市駅前拠点施設の名称デザイン及びロゴマークの決定

施設名称「フレア五日市」に沿ったロゴマークと、施設名称のデザインを募集した。

ア 応募期間 令和6年11月1日から11月29日まで

イ 応募点数

(ア) ロゴマーク 22 作品

(イ) 施設名称デザイン 18 作品

(5) 公衆喫煙所の移設工事

武蔵五日市駅前拠点施設の建設に併せ、市有地を効果的に活用するため、既存の公衆喫煙所の移設工事を実施した。

件名	受注者	金額
R6 武蔵五日市駅前公衆喫煙施設撤去工事	田邊造園土木株式会社	787,600円
R6 武蔵五日市駅前喫煙所設置工事	田邊造園土木株式会社	6,466,900円
合計		7,254,500円